

セーブペットプロジェクトテーマ ～愛情を、楽しい時間に～

Vol.5 石川ドッグレスキュー (上)

取材対象

石川ドッグレスキュー
代表 池田裕美子さん

犬や猫の殺処分削減を目指すセーブペットプロジェクト (SPP) では、ノミ・マダニ駆除薬「フロントライン」シリーズの売上の一部を、新しい家族を探す犬や猫のために役立てています。今回はSPPスタッフが支援先団体の1つ「石川ドッグレスキュー」を訪ね、長年石川県内で保護所に収容された犬たちの保護活動に取り組んできた同会代表の池田裕美子さんに、これまでの経緯と現状についてお聞きしました。

バザーの収益を保護犬たちのために



多くの人でにぎわうバザー会場
販売されている商品はすべて寄付されたもの

SPPスタッフが訪問したのは、石川ドッグレスキューが年に3回ほど石川県内で開催しているチャリティバザーの会場です。バザーでは活動を支援する皆さんから寄付された様々な品物がお買い得な価格で販売されていて、会場は買い物客で大賑わい。バザーの収益 (1回につき20～30万円ほど) は、会が保護する犬たちの医療費やフード代などに充てられます。バザーを運営するスタッフは約50名。うち約半数は同会の正規会員、残りはバザーのお手伝いを申し出てくれたボランティアの皆さんだそうです。会場内では、保護犬の譲渡会も行われており、約10頭の犬たちが新しい飼い主との出会いを待っていました。とても活気のあるバザー会場の様子を見ている限り、順風満帆に見える同会の活動ですが、ここまでするまでには会の設立者で代表の池田裕美子さん以下、会員のみなさんの大変な努力がありました。

小学生時代から保護活動を開始

池田さんが犬の保護活動を開始したのは、なんと小学生時代！小学校3年生くらいのとき、祖父に連れられて子犬をもらいにいった保護所で「殺処分」の事実を知ったのがきっかけだったそうです。「天と地がひっくりかえるくらいのショックを受けました。それまでは、子ども心に犬は人間の友達や家族のような存在だと思っていましたから…。何の落ち度もない犬を『処分』という名のもとに平然と殺してしまうシステムが存在していること自体が、信じられませんでした」。さらにショックだったのは、自分がこれまで可愛がっていた近所の家の犬たちも保護所で処分されていたこと。「近所の家の飼い犬に子犬が産まれるたびに、嬉しくてよく遊びに行っていました。でも少し大きくなるといつのまにか子犬たちがいなくなるんです。その家の人に聞くと『テニスコートのそばに子犬を引き取ってくるところがあるよ』と。その日、私が祖父に連れられていった保護所はまさにテニスコートのそばにあったんです…。大人は信用できないと思い詰めた池田さんは、以降、街で子犬を拾っては近所の空き家に乗って密かにエサを運び、近所の家を1軒1軒訪ねて「犬をもらってください」と頼んでまわっていたそうです。「保護所で見たたくさんの犬たちの顔が頭から離れませんでした。私は1頭選んで連れて帰ったのですが、その他の救えなかった犬たちのことを考えると…。自分の無力さを思い知り、大人になったら保護所の犬たちを全部助けてあげようと思ったんです。でも、実際は大人になっても、私は相変わらず無力でした」。



石川ドッグレスキュー代表の池田裕美子さん
小学生の頃から犬の保護活動に取り組んでいる

周囲の人を動かした、メルマガの力



池田代表の思いに共感した仲間が集まり
どんどん広がって行くボランティアの輪

2002年ごろから、保護所から犬を引き出して保護、里親を探す活動を1人で始めた池田さんでしたが、もちろんすべての犬を引き出すことは不可能でした。「結局すべての犬を救えない自分が悔しくて悲しくて…。悩んだ末に思いついたのは、メルマガを書くことでした。メルマガで自分の見た悲しい現実を1人でも多くの人に伝えることが、何の落ち度もないのに殺されていった犬たちのために、私ができる唯一のことだったのです」。池田さんが週に2～3回、想いの丈を書き綴って発信するメルマガは、少しずつ周囲の共感を集めるようになりました。実は、チャリティバザーを始めるきっかけを作ったのも、このメルマガ。メルマガを読んだ愛犬家グループの人たちが、「バザーをやってその収益を寄付します」と申し出てくれたのです。このようにして少しずつ支援の輪が広がり、ボランティアとして活動に参加してくれる仲間も増えていきました。

石川ドッグレスキュー <http://i-dog.net/>

セーブペットプロジェクトテーマ ～愛情を、楽しい時間に～

Vol.5 石川ドッグレスキュー (下)

取材対象

石川ドッグレスキュー
代表 池田裕美子さん

意見の対立、スタッフのケガ…。活動の限界に直面



チャリティバザー会場で笑顔の皆さん

池田代表のお嬢さん、池田代表、広野の経管谷さん、ボランティアさん (左から)

資金や仲間が増えて、保護所から引き出せる犬の数も増えてきましたが、引き取る犬が増えれば増えるほど、当然、必要なコストやスタッフも増えていきました。「犬を助けたい一心で、どんどん保護所から引き出してくるので、家はいつも40頭くらい犬でギョウギョウ詰。世話も資金の工面も大変で毎日がギリギリの状態。私を含めスタッフはみな寝不足していました。スタッフは『このまま頑張ると1頭でも多く引き出そう』という意見と『もう少し頭数を減らして、余裕をもって活動をした方がいい』という意見で対立するようになり、会の中に派閥ができてしまいました。もちろん私も『このままではいけない』とは思っていましたが、どうすればいいのかわからず悩む日々が続きました」と池田さん。そんなある日、悲しい事件が起こります。スタッフの一人が犬にかまれ、大けがをしてしまったのです。この事件を機に、池田さんは体制の刷新を決定。石川県に「このままでは活動を継続できない。協力してほしい」と直談判しました。お礼も、環境省が中心になって、全国的に犬や猫の殺処分数を減らそうという取り組みが行われ始めた時期だったこともあり、石川県は協力を快諾。これまで池田さんら石川ドッグレスキューに任せきりだった譲渡活動にも、県としては主体的に取り組んでくれることになりました。「子犬や健康な犬など比較的譲渡しやすい犬は県が、老犬や持病のある犬など譲渡が難しい犬は私たちが譲渡する」という体制に決まりました。おかげで私たちの活動も落ちつきを取り戻し、以前よりは余裕をもって活動に取り組むことができるようになりました。

SPPの支援が病気の犬たちの治療費に

とはいえ、老犬や病気の犬の譲渡はそう簡単なことではありません。特に病気の犬の場合、医療費がかさむことが目に見えているため、引き取りを躊躇する方も多くいます。もちろん同会では、引き取ったすべての犬に基本的な健康管理を実施しています。「ワクチン接種と犬フィラリア予防、そしてノミ・マダニ対策は必須です。特にノミ・マダニは放置しておく他の犬たちとうつつてしまうので、毎月欠かれません。最近は経口タイプのネクスガードを使用していますが、とても便利でスタッフの間でも好評です。犬たちも喜んで食べてくれます。特にダイエット中の犬には、よほど楽になっていくようです」とのこと。「ただ、すべての犬に必要な健康管理を施すためには、それなりの費用が必要で、特定の犬にだけ多額の治療費をかけてしまうと、他の犬のための健康管理費やフード代が不足してしまう可能性があります。池田さんは、ある犬の手術をするかどうか迷っているときに、スタッフから「1頭分の手術費で10頭の命が助けられるの」とくぎを刺されたこともあるそうです。「でも、SPPの医療費支援を受けるようになってからは、手術など高額な費用がかかる治療も躊躇なく受けさせてあげられるようになりました。SPPの支援は初めから『医療費』に限定されているので、会の経費とは別会計。他の犬たちの心配をせずに使うことができます」と池田さん。



ネクスガードを食べる保護犬ハッピー (キャ/リア)



ネクスガードを食べる保護犬シニアのマーサ (チワワ)

新しい家族との出会いを待つメルちゃん

この日、バザーの会場で新しい家族との出会いを待っていたメルちゃん (推定年齢13歳前後) も、SPPの支援で医療を受けた犬の1頭です。メルちゃんは文字通りボロボロの状態。保護所に連れて来られた5頭のトイプードルのうちの1頭。5頭とも悪質なブリーダーのもとで繁殖用に使われていたらしく、保護されたとき、健康状態は最悪でした。何度も出産と授乳を繰り返していたらしく、産毛の状態も悪く、歯は全て抜け落ち、すべての乳房に腫瘍ができていました。「通常なら、医療費のことを考えて泣く泣く引き取りをあきらめるところでしたが、SPPの支援で医療を受けさせることができました。5頭とも引き取り、できるかぎりのことをしてあげることができました」。病気の完治にはいたっていないものの、投薬を続ければ日常生活を送れるまでに回復したメルちゃん。ほかの4頭も順次譲渡会などで新しい家族を募ることにしているそうです。池田さんは「すべての犬を助けたい」という子どものころの夢は、残念ながらまだ叶っていませんが、皆さんのサポートで少しずつ会の活動も軌道に乗ってきました。なにより、メルちゃんのようにこれまで諦めていた犬を助けられるよう、活動が続いていきました。これからも1頭でも多くの犬の命を助けられるよう、活動を続けていきたいと思っています」と話しています。池田さんらのケアの甲斐あって元を取り戻し、今では若々しい目の輝きも戻ってきたメルちゃん。1日も早く、新しい家族と出会えますように！SPPも応援しています。



SPPの医療費支援を受けて回復している
メルちゃん (トイプードル・メス)

石川ドッグレスキュー <http://i-dog.net/>